

地域整備方針

(さいたま市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
大宮駅周辺地域	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <p>東北圏・北陸圏・北海道と繋がる交通結節点として、駅前広場や歩行者空間の拡充とともに、大宮駅の機能高度化により、交通機関相互の結節機能を強化</p> <p>また、交通結節点としての利便性や多様な地域資源を活かした新たなイノベーションの創出を目指した、東日本の対流拠点にふさわしい魅力と賑わいを備えた都市空間を形成</p> <p>これらの整備と合わせ、狭隘な道路や老朽化建物を更新することにより、防災性を強化し、災害に強い強靱な都市基盤を形成</p>	<p>○東日本連携を促進させ、イノベーションの創出を誘発する、オフィス・ホテル・会議室等の都市機能の集積</p> <p>○交通ターミナルとして、歩行者中心の移動環境及び、ゆとりある駅前空間の創出等により、交通結節機能を強化</p> <p>○狭隘な道路や老朽化建物の更新と併せて街区再編や災害時対策の推進による防災機能の強化</p> <p>○公共施設の再編による大規模な土地活用により、都市機能を強化</p>	<p>○駅周辺の賑わい創出のため、周辺市街地の再編に併せ、交流空間や、回遊性・利便性向上のための歩行者ネットワークを創出</p> <p>○駅機能高度化を図るため、鉄道相互間の乗り換え利便性向上に向けた駅改良や、回遊性・防災性強化に向けた東西通路を確保</p> <p>○ユニバーサルデザインに配慮した、安心・安全、便利・快適な駅、及び駅前空間を整備</p> <p>○駅周辺における自動車の混雑緩和のため、ハード・ソフト両面から自動車ネットワークの再構築を図る施策等を導入</p>	<p>○駅及び駅周辺街区では、東日本の玄関口にふさわしい駅前景観と沿道ごとの特色を活かした、都市空間の誘導</p> <p>○駅周辺において公共施設と建築物との一体的な整備等による都市開発事業の促進</p> <p>○都市開発事業における敷地内緑化・屋上緑化などヒートアイランド対策を誘導</p> <p>○都市開発事業における建築物等の高断熱化・省エネルギー化等により地球温暖化対策を誘導</p> <p>○都市開発事業において、未利用エネルギーの活用、自立分散型かつ高効率なエネルギーシステムの導入を誘導</p> <p>○大規模災害発生時における駅周辺の滞留者等の安全確保に資する退避施設、備蓄倉庫、情報伝達施設等の整備を推進</p> <p>○官民連携による賑わいの創出やまちの持続性、防犯対策等に繋がるエリアマネジメントの導入</p>